

精神保健論	2年・前期	1単位 15時間	准教授 鎌田由美子
科目カテゴリー	看護の対象の理解	科目ナンバリング	32120302

### 1. 授業のねらい・概要

個人、家庭、社会、医療における精神保健の意味・目的と精神保健の維持増進を支援するシステムについて理解する。

### 2. 学修の到達目標

1. こころの構造と機能が理解できる。
2. ライフサイクルにおけるこころの発達と危機が理解できる。
3. 社会（家庭、学校、職場など）における精神保健が理解できる。
4. 医療現場における精神保健（リエゾン精神保健活動）が理解できる。

### 3. 授業の進め方

講義を中心に進める。

### 4. 授業計画（講義・演習）

回	授業内容	授業形態	事前事後学修（学修課題）	担当
1	精神保健とは	講義	予習：「精神看護の基礎」P24-27まで読んで、自己学習ノートにまとめる。 復習：授業資料と教科書を照らし合わせて読み、自己学習ノートに追記する。	鎌田
2	こころの構造と働き	講義	予習：「精神看護の基礎」P79-86まで読んで、自己学習ノートにまとめる。 復習：授業資料と教科書を照らし合わせて読み、自己学習ノートに追記する。	鎌田
3	欲求と防衛機制	講義	予習：「精神看護の基礎」P86-96まで読んで、自己学習ノートにまとめる。 復習：授業資料と教科書P86-90熟読し、自己学習ノートにまとめる。	鎌田
4	こころのストレスと危機状況	講義	予習：「精神看護の基礎」P31-47まで読んで、自己学習ノートにまとめる。 復習：授業資料と教科書を照らし合わせて読み、自己学習ノートにまとめる。	鎌田
5	人生の成長と発達	講義	予習：「精神看護の基礎」P97-101まで読んで、自己学習ノートにまとめる。 復習：授業資料と教科書を照らし合わせて読み、自己学習ノートにまとめる。	鎌田
6	人生各期の発達危機①「乳児期」「学童期」「思春期」「青年期」	講義	予習：5回目授業内容（資料と教科書）を復習し、「精神看護の基礎」P102-112まで読んで、自己学習ノートにまとめる。 復習：授業資料と教科書を照らし合わせて読み、自己学習ノートにまとめる。	鎌田
7	人生各期の発達危機②「成人期」「中年期」「老年期・リエゾン精神看護	講義	予習：「精神看護の基礎」P107-112まで読んで、自己学習ノートにまとめる。 復習：授業資料と教科書を照らし合わせて読み、自己学習ノートにまとめる。	鎌田
8	まとめと試験	講義	予習・復習：1-8回までの授業内容（資料と教科書）と自己学習ノートを復習する。	鎌田

### 5. 成績評価の方法・基準

筆記試験 90%、授業中の参加態度 10%で評価する。

## 6. テキスト・参考文献

教科書：系統看護学講座 精神看護学 1 精神看護の基礎 医学書院  
          系統看護学講座 精神看護学 2 精神看護の展開 医学書院  
参考書：随時紹介する。

## 7. 準備学習に必要な時間、又はそれに準じる程度の具体的な学習内容

シラバスの範囲をみて、関連するテキストで事前学習して臨むこと。  
毎回、授業計画の学修課題に沿って、最低1時間以上予習・復習し受講すること。

## 8. 受講上の留意事項

シラバス該当範囲の知識に関して予習して臨むこと。  
主体的、意欲的な授業への参加が重要である。遅刻や授業中の私語、授業中に授業に関連する作業以外の行動は、参加態度として評価対象とするので注意すること。

## 9. 課題に対するフィードバックの方法

定期試験の解答は試験後に口頭や掲示によりフィードバックする。

## 10. 卒業認定・学位授与の方針と当該授業科目との関連

必修科目であり、修得できない場合進級不可となる。

## 11. 実務経験のある教員等による授業科目

医療機関等における看護師としての実務経験を活かして、講義・演習を行う。